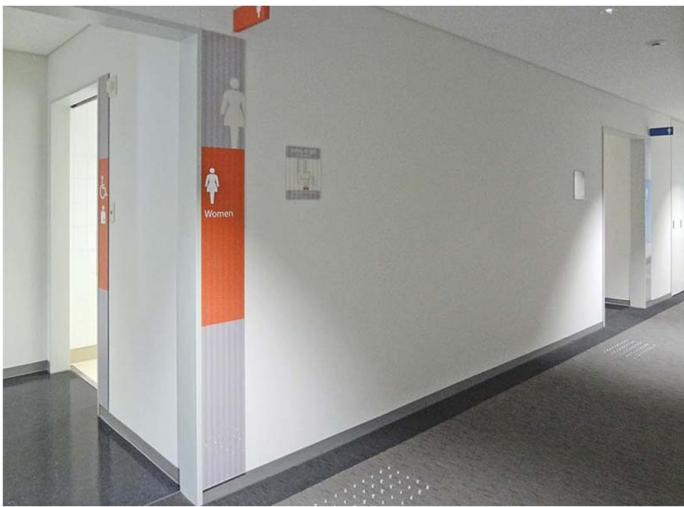


外観



外壁にレンガを用いた重厚で落ち着いた雰囲気建物は、同志社の重要文化財となっている施設と調和を図るデザインを採用し、景観保全に配慮。京都市営地下鉄今出川駅と連絡通路でつながっている。

トイレ 入口



遠くからでも男女トイレがひと目でわかるように、サインを色分けしている。

女性トイレ 大便器ブース



女性トイレの1ヶ所のみ和式便器を設置し、そのほかは男女トイレともすべて洋式便器を採用。2度流しを防止するため、音姫（擬音装置）機能を搭載したウォシュレットPを設置している。

男性トイレ 洗面コーナー



女性トイレと色違いのモザイクタイルを採用。水じまいがよく、節水効果も図れる壁付きの自動水栓を設置している。

多機能トイレ（女性）



各フロアの男女トイレに、車いす使用者やオストメイトなどさまざまな利用者を想定して、オストメイト対応の多機能トイレを設置している。

多機能トイレ（男性）



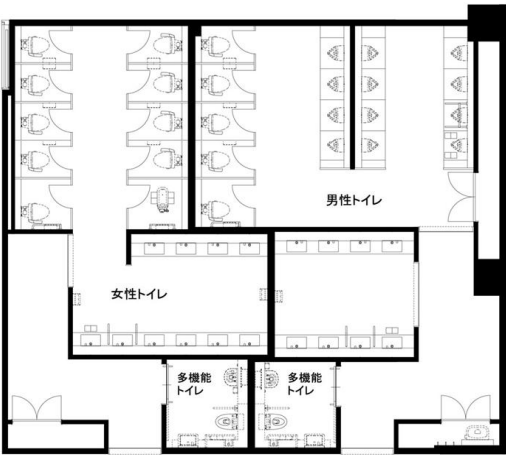
女性トイレと同様の設備を備えた男性用の多機能トイレ。デザイン性・機能性を兼ね備えた、RESTROOM ITEM 01のフラットカウンター多機能トイレバックを採用している。

男性トイレ 大・小便器コーナー



男性トイレにも音姫（擬音装置）機能を搭載したウォシュレットPを設置。清掃性に優れ、尿石の付着やにおいの発生を抑えることができる、ジアテクト機能搭載の壁掛式自動洗浄小便器を採用している。

図面



女性トイレ 洗面コーナー



壁面のモザイクタイルがアクセントになっている洗面コーナー。水濡れを心配せずに、かばんや教科書などを置くことができるように、ツインデッキカウンターを採用している。

女性トイレ 大便器コーナー



大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感を高めている。

建築概要

|         |                            |
|---------|----------------------------|
| 名 称     | 同志社大学 今出川キャンパス 良心館         |
| 所 在 地   | 京都市上京区今出川通り烏丸東入            |
| 施 主     | 学校法人同志社                    |
| 設 計     | 同志社大学今出川キャンパス整備設計<br>共同企業体 |
| 施 工     | 戸田建設株式会社                   |
| 竣 工 年 月 | 2012年10月                   |

水まわりの特長

<建物の特徴>

同志社大学は、明治六大教育家の1人である新島襄によって1875年に創立された同志社英学校がその前身。2013年5月1日時点で26522人の学部学生が在籍し、男女比は6:4となっている。  
本部を擁する今出川キャンパスにある良心館は、2012年10月、同志社中学校の跡地に建設された。地下2階・地上5階建て、建築面積約8000㎡、延床面積約40000㎡の建物で、教室、経済学部・経済学研究科の研究室および共同研究室、ラウンジ、食堂、購買、今出川キャンパス教務センターなどを備えた複合施設となっている。同志社の重要文化財となっているそのほかの施設のデザインを継承し、京都市の基準よりも極力高さを抑えて設計するなど、景観保全に配慮している。

<トイレの特長>

車いす使用者やオストメイトなどさまざまな利用者を想定して、各フロアの男女トイレにオストメイト対応マルチバックを備えた多機能トイレを設置。大便器は、女性トイレの1ヶ所を除いてすべて洋式便器を採用。2度流しを防止するために、音姫（擬音装置）機能を搭載したウォシュレットPを設置している。